

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	入居者は地元住民も多く、地域への散歩や近隣へのドライブなど、外出の機会を増やす	近隣の方との接点を多く持つよう、情報を収集して催物等に参加する	区長さんに毎月の広報等の配り物をほほえみ荘にもまわして頂くようにした。	1ヶ月
2	6	入居者の閉塞感や心身の状況、家族、地域の人々にもたらす印象のデメリット等も考慮され、拘束せざるようにする	生命の危険を重視しながら、時間帯やタイミングを見計らって拘束せざるようにする	ベット4点柵等は、時間の短縮や徐々に外していくよう試みる	12ヶ月
3	4	会議録に、会議の様子がより分かるように意見のやり取りの記載と、より多くの家族が出席できるよう、呼び掛けの工夫をする	家族にケアカンファレンスや運営推進会議に興味を持って頂けるようにする	ほほえみ荘お便りや面会時に声かけて参加を促す また、議事録やアンケートなど送付して関心を持ってもらえるよう試みる	6ヶ月
4	26	サービス提供についてのモニタリング等、独自の書式を使用しているが、分かりにくい面がある。より分かりやすい書式の検討をする	ケアプランのサービス内容に沿った書き方になるよう様式にする	ケアプラン7表の様式を考案する	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。